

国語

第1問

次の文章は、筆者が2019年から都立高校で行ってきた「映画の歴史から学ぶメディアリテラシー」という授業で伝えている内容の一部である。この文章を読んで、後の問い（問1～問7）に答えよ。

（深田晃司「日本映画の『働き方改革』」による。ただし、一部改変してある。）

問 1 傍線部アㄱオの漢字はひらがなに、カタカナは漢字に書き改めよ。

問 2 傍線部 1「特に映像メディアに特化して、メディアリテラシーについて考えていきたい。」とあるが、作者がこのように述べるのはなぜか、説明せよ。

問 3 波線部「より、い、い、正確に」の箇所「傍点（、）」が付けられているのはどうしてか。次のアㄱオの中から最も適当なものを一つ選び、記号で答えよ。

ア 正確に伝えることは最優先事項であることを示すため。

イ 正確に伝えることは相対的事項であることを示すため。

ウ 正確さを強調して正確さが必要事項であると示すため。

エ 正確に伝えることはほぼ不可能であることを示すため。

オ 正確に伝えることは段階を踏んで進むことを示すため。

問 4 空欄 に入る最も適当な語を次のアㄱオの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 中枢 イ 根幹 ウ 対極 エ 枠外 オ 周縁

問 5 傍線部 2「では、なぜ『映画』について学ぶのか。」とあるが、映画を学ぶ理由を説明せよ。

問 6 傍線部 3「ニュース映画の大衆への訴求力に着目した」とあるが、戦時中の日本では、映画の訴求力にどのような効果を期待したのか。傍線部 3の前の文中から、五字以内で抜き出して書け。

問 7 傍線部 4「多くの国が今も昔も映像をプロパガンダに利用している。」とあるが、それはなぜか、説明せよ。

第2問

次の文章を読んで、後の問い（問1～問6）に答えよ。

（瀬尾夏美「おじいさんの空き地」による。ただし、一部改変してある。）

問 1 傍線部アゝオの漢字はひらがなに、カタカナは漢字に書き改めよ。

問 2 傍線部 1 「それがまったくの不得手で、結局することがなかったのだ。」について、次の〔Ⅰ〕〔Ⅱ〕の問いに答えよ。
〔Ⅰ〕 このような「わたしたち」に対して現場の人々がしてくれたことの特徴を端的に述べた一文を文中より抜き出し、その文の最初の三字を書け。

〔Ⅱ〕 現場の人々が〔Ⅰ〕のようにしてくれた理由を、「わたし」はどう考えているか、説明せよ。

問 3 傍線部 2 「じゃあなんのために？」という素朴な問いかけには応じないという感じで、どうもな、と笑って彼らに手を振った。」とあるが、「おじいさん」はどうして壊す予定の家をきれいにしたのか、説明せよ。

問 4 空欄 に入る最も適当な語を次のアゝオの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 腑^ふに落ちる イ 語るに落ちる ウ 地に落ちる エ 理に落ちる オ 手に落ちる

問 5 傍線部 3 「見送りができた、別れの時間が持てたという実感」とあるが、このような実感を持てたことがわかる、「おじいさん」の言動を書いた一文を文中より抜き出し、その文の最初の三字を書け。

問 6 二重傍線部「もうひとつの空き地」とあるが、このことについて述べた箇所を、波線部 aゝ e の中から一つ選び、記号で答えよ。